

第2学年 図画工作科学習指導案

展開場所 体育館

1 題材名 わっかのまほうで 大へんしん〜祝!都小学校150周年ファッションショーをしよう!〜

2 題材について

本題材では、身体につけた輪っかにいろいろな材料で飾り付けをして、自分を変身させるという活動をする。輪っかを付ける場所や、付ける飾りの形や色を「魔法をかけるように」工夫して楽しみながら活動をして欲しいという思いから、上記のような題材名とした。

本題材は、学習指導要領の目標(2)「造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。」及び(3)「楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う」を受けて設定している。この目標を受け、内容「A 表現」(1)イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付けることや、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えること。」を指導の重点とする。

本題材では、まず始めに輪っかの作り方や用具の使い方を習得させる。そして、児童一人一人がいろいろな色に気付き、自分なりのイメージをもてるようにするために、材料に触れて、その中から使ってみたいものを選ぶ時間を設ける。さらに、学習の終わりに「都小学校150周年をお祝いするファッションショーをするよ。」と児童に伝えることで、学習に対する目的意識をもって楽しみながら活動できるようにする。また、学習に支援を要する児童が複数いることを踏まえた学習計画を立てた。「全て自由に作りましょう」とするのではなく、「今日は、まず始めに頭に輪っかを作って変身させよう」、「次の時間は、腰に輪っかを作って変身させよう」、「残った時間で腕や足を変身させてみよう」など、支援を要する児童にとっても手順が明確になるように十分配慮する。さらに、作業をする際にグループの友達に手伝ってもらったり、アドバイスしてもらったりするなど、関わり合いが自然と生まれるような場づくりの工夫も行う。

3 題材の目標

- (1) 輪に飾りを付けて、自分を変身するものをつくるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。
- (2) 色画用紙、はさみ、ホチキス、セロハンテープなどに十分慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。
- (3) 好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
- (4) 変身した自分たちの姿や飾りの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げる。
- (5) 楽しく輪に飾りを付けて、自分を変身するものをつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・輪に飾りを付けて、自分が変身するものをつくるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>・色画用紙、はさみ、ホチキスなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</p> <p>(創造的技能の内容)</p>	<p>・好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、自分のイメージをもっている。</p> <p>・変身した自分たちの姿や飾りの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>(発想・構想、鑑賞の能力の内容)</p>	<p>・楽しく輪に飾りを付けて、自分が変身するものをつくる学習活動に取り組んでいる。</p> <p>(関心・意欲・態度の内容)</p>

5 指導と評価の計画(6時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価の観点、評価の方法等				備考	
		知 技		思			態
		知識	技能	発想や構想	鑑賞		
※ 時間外	<p>・ホチキスやはさみの正しい使い方を確認する。</p> <p>・ホチキスやはさみを使う機会を増やし、慣れさせる。</p>						<p>苦手としている児童が多いホチキスやはさみを使う機会を増やし、抵抗感をなく道具を使えるようにする。</p>
1	<p>・教科書等を見て、学習の見通しをもつ。</p> <p>・輪っかの作り方を全体で確認して、実際に輪っかを作ってみる。(頭部分)</p> <p>・ワークシートに作りたい作品のイメージを描きこむ。</p>	◎ 観察		○		○	<p>1時間目は、「知識・技能」の「知識」に重点を置く。</p> <p>児童一人一人が「輪っかの作り方」を理解し、次時以降につなげられるようにする。</p>
2 (本時)	<p>・飾りの形や色を試しながら、変身したいものを考えてつくる。(頭を中心にやる)</p> <p>・いろいろな材料を手に取り、使ってみたい材料を選び、自分のイメージをもつ。(次時に使いたい材料</p>		○	◎ 観察 ワークシート			<p>2時間目は、「思考・判断・表現」の「発想や構想」に重点を置く。</p> <p>「○○の世界」「△△をイメージして変身」等、どのような作品にしたいかを簡単にワークシートに記入させる。</p>

	を選ぶ。)						
3	・飾りの形や色を試しながら、変身したいものを考えてつくる。(腰を中心にやる) ・いろいろな材料を手に取り、使ってみたい材料を選び、自分のイメージをもつ。(次時に使いたい材料を選ぶ。)		○	○		○	3時間目は、腰の飾りを中心に作る。前回記入したワークシートや前時までの作品を参考にしながら、自分のイメージを大切にしながら作るように声掛けをする。
4	・飾りの形や色を試しながら、変身したいものを考えてつくる。(手首や足首) ・今までの作品を見て、付け足したいところや直したいところがないかを確認する。		◎ 作品	○		○	4時間目は、「知識・技能」の「技能」に重点を置く。 作品をもう一度見たり、実際に身に着けてみたりして、振り返る時間を取る。
5	・学級内で変身した姿を見せ合い、面白いところや工夫しているところなどを伝え合う。(学級内でファッションショーをする。)				○	○	5時間目は、作品を身に着けて学級内でファッションショーをする。良いところや面白いところを伝え合う。
6	・変身した姿で、「おめでとう!都小学校150周年ファッションショー」を学年でする。ギガタブでその様子を撮影し、保護者等に観てもらおう。				○	◎ ワークシート	6時間目は、学年でファッションショーをして、その様子をギガタブで撮影しておく。自分たちで見返したり、保護者に見てもらったりして、まとめとする。

6 材料と用具

材料		用具	
・色画用紙	・画用紙	・セロハンテープ	・のり
・カラードフォルム	・スズランテープ	・はさみ	・ホチキス
・リボン	・紙テープ	・ペン(マッキー、プロッキーなど)	
・輪ゴム	など	・ビニールテープ	・ボンド
		・両面テープ	

7 本時の指導

(1) 目標

○紙の形や色を選びながら自分のイメージを膨らませて、イメージを基に貼る場所や組み合わせを考えて作品に表すことができる。 (思考・判断・表現)

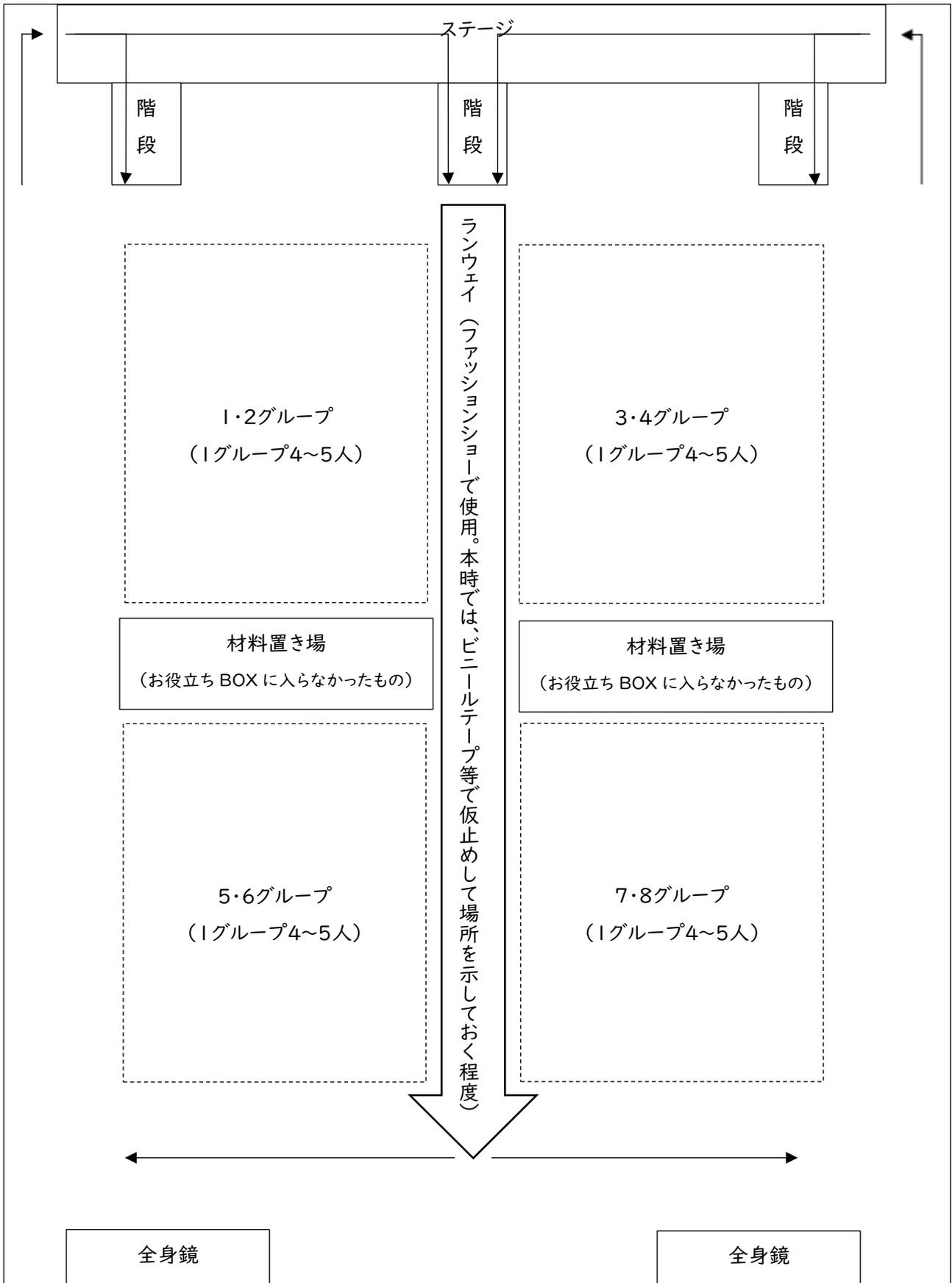
(2) 展開 (2/6)

学習活動と内容	教師の支援と評価(◆)	資料
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の学習で、輪っかの作り方がわかったね。 ・今日は頭の輪っかの飾りつけをするんだね。楽しみだな。 	<p>○前時までの学習を振り返り、本時のめあてと活動の進め方を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを示した掲示物
<p>頭につける輪っかにいろいろな飾りをつけて、変身しよう。</p>		
<p>2 前時に書いたワークシートを見て、自分の作品のイメージを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、魔女みたいに变身したいな。 ・ぼくは、カラフルな飾りつけをして变身したいな。 <p>3 飾りの形や色、材料を考えて、自分なりのイメージを思い浮かべながら工夫して表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スズランテープをつけて、ひらひらさせたいな。 ・いろいろな色を使って、カラフルにしたいな。 ・ここから先は、どうしよう。悩むなあ。 ・グループの〇〇さんに、どうしたらもっとよくなるか聞いてみようかな。 ・完成したから、頭につけて大きな鏡の前で見ようかな。 	<p>○前時に書いたワークシートを見て、どんな作品にしたいかイメージをもたせる。</p> <p>○イメージの加筆や修正をしてもよいことを伝える。</p> <p>○参考作品をいくつか提示する。「鼻より上までにする」、「目はどちらもしっかり見えるようにすること」等、お面型の作品を作るときの約束を全員で共有する。</p> <p>○まずは、キットの材料から使って作るように、声掛けをする。</p> <p>○材料置き場にある材料も適宜使ってよいことを伝える。</p> <p>○飾りを付けるのを手伝ってもらったり、アドバイスをもらったりと、グループで協力しながら進めるように助言をする。</p> <p>○早く完成しても終わりにするのではなく、①さらに作品にできる工夫を探す②作品を身に着けて、大きな鏡で見る③作品を身に着けて、ステージやランウェイに立ってみる④次時の腰の飾りに使いたい材料を探しておく等して、時間をもて余さないように</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・筆記用具 ・色鉛筆 ・参考作品(頭部分のもの) ・キットの材料 ・ホチキス ・はさみ ・のり ・両面テープ ・セロテープ ・ペン ・その他の材料

<p>4 本時の振り返りをする。次時の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭の飾りが完成した、嬉しいな。 ・次はどんな飾りを作ろうかな。 	<p>する。</p> <p>◆紙の形や色、組み合わせ方等からイメージを膨らませて、工夫して作品に表している。</p> <p style="text-align: center;">(思考・判断・表現)</p> <p>○ワークシートの振り返りを記入させる。</p> <p>○時間に余裕があれば、何人かの作品を見せる。</p> <p>○作品や使った道具は、作品バッグに入れるように伝える。</p> <p>○次時は、腰の飾りを作ることを確認しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・筆記用具
---	--	--

(3) 場づくり

体育館で行う。体育館横壁には作り方等を確認できる掲示物を貼ったり、見本を置いたりする。

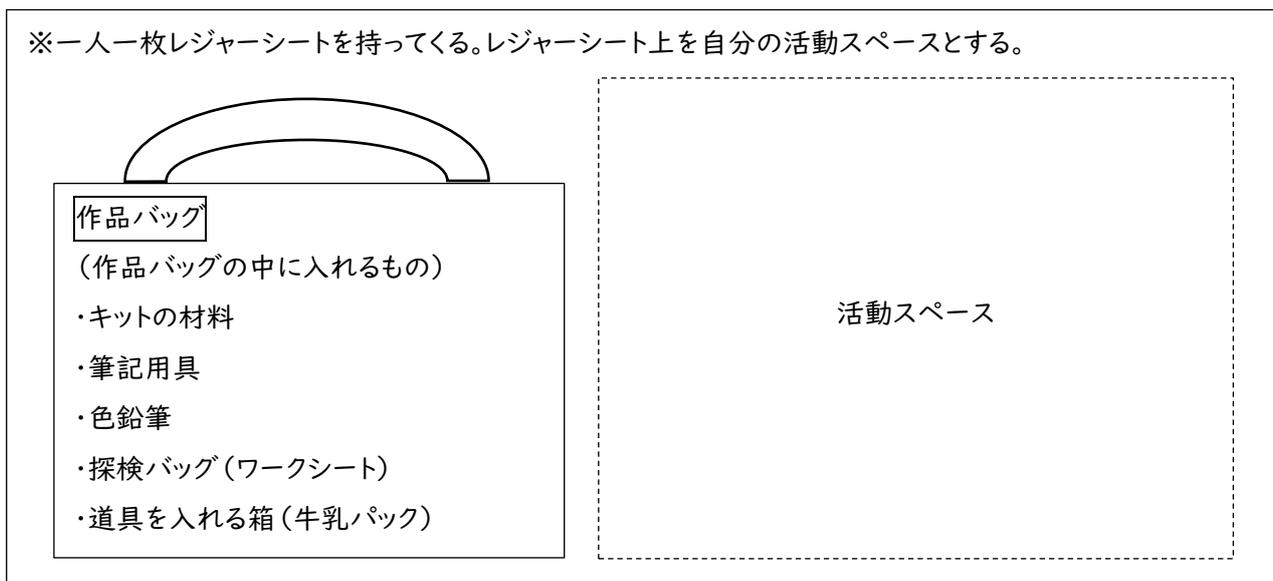


(グループごとに配る材料)

材料置き場が密にならないように、各グループに「お役立ちボックス」を配る。「お役立ちボックス」には、以下のものを入れておく。

・両面テープ	・細切り折り紙(無地)	・手首や足首の輪っかの作り方
・ウェットティッシュ	・細切り折り紙(ラメ入り)	・お面タイプの輪っかの作り方
・使いやすいホチキス	・丸シール	・マスキングテープ
・色画用紙(大・小)	・頭の輪っかの作り方	
・両面折り紙	・腰の輪っかの作り方	

(自分のスペースの場づくり)



※事前にグループを組んでおく。グループごとに座るようにする。

(場づくりにおける諸注意)

- コロナ禍で行う授業となるため、三密を避けた場づくりを行う。
- (レジャーシート同士は一定の距離を開ける、材料置き場を複数箇所準備するなど)
- 授業前後に必ず手洗い・消毒をする。授業中に手を洗いたいときは、ウェットティッシュで手を拭く。
- 1グループ4~5人でグループを組む。グループは、実態に応じて教師側で組む。
- 作品バッグに全ての荷物を入れて、教室→体育館を移動するようにする。完成した作品も作品バッグに入れる。
- レジャーシート上は、作業がしやすいように物をなるべく置かないようにする。はさみやホチキス、のり等は使わないときは箱(牛乳パック)に入れておく。
- ごみを入れるビニール袋を用意しておく。「自分は使わないけど、他の人が使えるかもしれない」というものは、材料置き場に持っていくようにする。

8 主な引用/参考文献

- ・小学校学習指導要領解説 図画工作編